



■地域コミュニティの活動を紹介します

筑紫野市では、共助社会づくりに向けて、地域コミュニティによるまちづくりを推進しています。

今回は、山家コミュニティ運営協議会の主催による山家地区敬老会について紹介します。

山家

山家地区敬老会を開催しました

9月10日(日)、山家コミュニティセンター大研修室で山家地区敬老会を開催し、山家1区〜9区の75歳以上の皆さん419人中139人が出席しました。

敬老会は公民館や介護施設などの単位で行われるのが一般的ですが、山家では地区全体を対象にした敬老会を毎年実施しています。

式典では、山家コミュニティ運営協議会会長、市長、市議会議長の祝辞の

あと、記念品の贈呈に続き、山家8区から代表者が謝辞を述べました。

祝宴では、お弁当を食べながら歓談し、山家8区の皆さんによる伝統の山家追分音頭、山家小学校1・2年生のダンスと呼びかけ、「劇団笑い雑草」の熱演などに拍手喝采でした。

この日のために、実行委員会(コミュニティ運営協議会委員、女性代表者会、筑山中学校親善大使)は「おもてなし」の心で準備をし、当日はテーブルに花を飾り、出席者にリボンをつけて案内をしました。本番までの準備は試行錯誤の連続でしたが、にこやかな表情で帰る皆さんの姿や、「ありがとう」の言葉をいただくなど、祝意を表すことができ安堵しました。

山家地区は市内で2番目に高い高齢化率ですが、市内で唯一あった地区社会福祉協議会を発展解散し、コミュニティ運営協議会福祉部として高齢者に対する施策を行っています。全自治区のいきいきサロン、健康づくり推進事業、救急医療情報キット配付と声かけ、花鉢配りなど、「今日も笑顔で、楽しく、元気にガンバろう!」をテーマに活動を行っています。

山家コミュニティ運営協議会には

6つの専門部があります

スポーツ部

まちづくり部

防犯・防災部

環境部

福祉部

子ども育成部

